



バプテテスト心身障害児(者)を守る会
愛の手を

第219号

発行責任者
 社会福祉法人 バプテテスト心身障害児(者)を守る会
 重症心身障害施設 久山療育園
 重症児者医療センター
 理事長 宮崎信義
 編集責任者 鍋山泰三
 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
 ☎(092)976-2281
 FAX (092)976-2172

2025年の新年度を迎えるにあたり、御挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が登場して丸5年となります。一昨年5月には、WHOがCOVID-19の緊急事態宣言を解除し、それに合わせてわが国でも、感染症法上の取り扱いを2類から5類へと引き下げました。オミクロン株へと変異してから後は重症化する症例は減少し、感染力、免疫逃避力はまだまだ強いものの、その脅威はかなり縮減された感がありました。しかし、当園では今年1月末から2月初めにかけて、医療度の高いめぐみ棟で入所者6名、スタッフ5名の発病が続き、クラスターを形成しました。スタッフの懸命なケアと抗ウイルス薬の投与もあり、幸い重症化する人はありませんでした。ご心配をおかけしましたが、隔離の仕方、ケアの方法などこれまでの当園の経験が生きたものと考えています。まだまだ医療・福祉施設では油断ができないことを改めて教えてくれるできごとでした。1年前にBCP(事業継続計画)の当園仕様プランを作りまし

「新年度を迎えて」

センター長 岩永知秋

たが、今後も災害や感染症が突発的に生じたとき、現在行っている医療・療育をできるだけ継続していくためにどのような準備、対処していくべきか、知恵を出し合って将来に備えてまいります。一方、COVID-19流行のため流行が抑えられていたインフルエンザが、今シーズンは昨年11月から早くも出現し、12月には日本で史上最大数の感染者を記録することになりました。しかし、幸いなことに当園では1年前の当園での流行と異なり、ほとんど感染者を出すことがありませんでした。1月に入り市中のインフルエンザ流行は急速に収まりました。

世の中はIT化の波が押し寄せる一方、それに抵抗する動きも絶えません。特にわが国は高齢化社会が進む中、デジタル化の遅れが指摘されています。中国や韓国はキャッシュレス社会に舵を切っていますが、日本は今なお現金が幅を利かせていますし、選挙の投票も手書き、書類に関する印鑑文化も河野元大臣の旗振り後もまだまだ残っていますし、はては電子印鑑などという代物も出てくる始末です。医療界では政府からの呼びかけにもかかわらず、マイナ保険証の普及に時間がかかっています。私も含め年配者は、長年慣れ親しんできた習慣の中に情緒的安定を感じる、との指摘もあり、デジタルネイティブならぬアナログネイティブの私も、少しは自己変革を心がけてはいるところです。マイナ保険証は問題ありませんでしたが、昨年から確定申告を家内と二人で、悪戦苦闘しながらe-tax

axで行うことができました。しかし、最近はやりの「年賀状仕舞い」はメール社会になってきているとはいえない、心淋しいものがあるのは私だけでしょうか。不易流行の言葉のごとく、良いものは取り入れていくという伸びやかなスタンスを持つことも、日本の良い習慣は変わらなくてもよいのでは、とも思っています。世界に目を向けると、米大統領選にトランプが再選されるや、米国の一挙手一投足に左右される毎日です。専制国家としてのロシア、中国などは仕方がないとしても、民主国家の代表選手であったはずの米国で矢継ぎ早に出される大統領令に世界が翻弄される姿は、民主主義のあり方を改めて世に問うものとなっています。世界を見渡すと、現在ではすでに民主主義国家よりも専制主義国家の方が多いようですが、ドイツ、フランスなど民主主義政権が不安定になっているのも気がかりです。各国の極右勢力が、プーチンやトランプ大統領の手法に親和性を示している様子なのも不気味です。

時代の荒波にもまれカオスの状況にある昨今ですが、この年度も久山療育園は、地に足を着け、障害を持つ人の心に届く重症心身障害医療と療育を目指します。皆様におかれましてはどうぞご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理念と展望

「法人・施設運営の骨子と方向性」

「平和を実現する働き」

理事長 宮崎 信義

2022年2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始し、2025年現在も戦争は終わっていません。大国ロシアによる、かつて連邦を形成した隣国ウクライナへの侵略は正当性を欠き、その残虐性からも国際世論の非難を呼び、2ヶ月で終わるだろうと思っていました。しかし、侵攻から2年以上が経っても戦争は続き、ロシアも自国の防衛のため国際関係をも対立的なものにしています。

平和の意味

測られています。一日も早い恒久平和を願います。

平和の意味

「愛の手を」218号(1月20日号)でも、真の平和を求めてと寄稿致しましたが、「平和」は単に戦争や争いの無い状態だけを言うのではなく、「キリストの平和」こそ、人間が真に望む平和であり、殺戮が絶えないパレスチナでもイラクでもアフリカでも実現する平和です。また私たちの日常のあり方においても、「キリストの平和」が希求されます。聖書では兄弟、すなわち「キリストにある兄弟」とは、どのような人々を言うのでしょうか。その関係のあり方や私たちをつなぐものは何かを、聖書に聴いていくと、人がお互いを所有し合えるのはただキリストを通してのみであることが示されています。

また2023年10月にイスラム組織「ハマス」のイスラエル侵攻からガザ地区の紛争が拡大し、2024年3月時点の死者はイスラエルが1400人以上、パレスチナでは3万人以上の人々が死亡しています。2025年1月19日に両者が6ヶ月の停戦に合意しましたが、それまでにパレスチナでは4万6000人以上の人が死亡したと伝えられています。1月21日の発表では、ガザ地区で4万7000人以上が死亡し、更に1万人以上が瓦礫の下に埋まっていると推

測されています。一日も早い恒久平和を願います。

すが、このシンプルな言葉を支えるものが、神の愛、キリストの愛であることを示しています。

平和を託された者として
重症児(者) 医療福祉の働き

特に教会やキリストの福音を土台として立てられた久山療育園にとつて重症心身障害児(者)と共に在る働きの最重要事項は「キリストの平和」です。保護者の皆様が連帯しておられる「重症心身障害児(者)を守る会」では、「平和」「こそ障害児(者)にとつて、「安全」「安心」の基盤となるものです。保護者(家族)の会である「全国重症心身障害児(者)を守る会」の三原則には、次の決意を明確に示しておられます。①決して争ってはいけません。争いの中に弱いものの生きる場はない。②親個人はいかなる主義主張があっても重症児運動に参加するものは党派を超え、超えられない。③最も弱いものをひとりも守る。

事業者としての私たちが、重症児(者)や保護者の皆様と共に在り、生命の尊厳や生活の豊かさに用いられること、そのものが平和としての活動

であるとも言えるでしょう。

「平和を祈る」くおわりに代えて

重症心身障害児(者)と共に在る私たちの働きが、「平和」を尊ぶものとなる願いに代えて、次のような祈文を献げたいと思います。

すべての時、すべての被造物を統治される、父なる神様。聖書の御言葉により、平和を教えて下さったことを感謝致します。

この世では、人の罪・愚かさのゆえに争いが絶えません。全ての人が救われるようにと御一人子を遣わされたにもかかわらず、人はその恩寵に応えようとせず、滅びに向かって歩んでいるように思われます。

願わくば、全世界のキリスト者をして、御神の平和を作り出すものとして用いられ、御国のために働くものとなして下さい。すべて戦争のために取り去られた命を、黄泉においても主イエスキリストの御取り扱いを賜りますよう、乞い願います。

主イエスキリストが再び来られる時には、人の罪・

愚かさのゆえに流された涙が拭われることを確信して、私共が歩むことが出来ますように導いて下さい。

平和を希求し、作り出す思いが一次的なものではなく、聖霊の導きにより私たちの内に、確かなるよう



人のからだと病気
第23回

「米国での家内と私の出産体験」

センター長／理事 岩 永 知 秋

医療記事連載中ですが、少し筆休めをさせていただきます。若い頃私は無鉄砲なところがあり、また感情の起伏も激しいところがありました。今の私を知る多くの人は「うそでしょう？」と言いますが、ひとは年をとるものですね。40年ほど昔の話です。医学部を卒業して5年目に、ほとんど準備することもなく、無謀にも米国留学を行いました。留学は学生時代からの夢でした。1年目はケンタッキー州のレキシントンにあるケンタッキー大学でした。留学して1か月もたないうちに、家内が体調不良となりました。大病院で診てもらい、おめでたであることが判明しました。私たちが夫婦にとつては待ちかねた嬉しい出来事でありました。夫婦二人で病院を受診した際、駐車場に私が車を置いて帰ってくる途中、病院外来のガラス越しに診察を終えた妻の喜ぶ姿が、40年たった今も鮮やかによみがえってきます。

ケンタッキー州は米国南部に位置し、州都はルイビルにあります。レキシントンはケンタッキー大学の学園都市です。今でしたらインターネットで米国都市の情報があふれるほどに入手できますが、当時はそのような便利なツールはありませんでした。ことに南部の田舎に関する情報は、ケンタッキー・フライドチキンやせいぜいケンタッキードービー（ルイビルで開催されます）ぐらいで、行ってみるまでどんなところかほとんど情報はありませんでした。レキシントンのブルーグラス空港へ私たちの飛行機が着陸態勢に入った時、目に飛び込んできたのは巨大なゴルフコースのように、一面に広がる牧草地でした。ちなみに、ケンタッキーは馬の生産地としても有名で、その芝はブルーグラスと呼ばれています。プロ野球楽天の宮城球場の天然芝が、なんとそのブルーグラスというのを先日知りました。その頃のケンタッキーにはト

ヨタの工場もまだなく、日本人も少なかつたです。私と同様に基礎的研究を目的として、農学部や薬学部にわずかに留学している日本人が少数いる程度でした。しかし、数少ない日本人同胞の助けもあり、家内の妊婦生活はほとんど何の心配もなく過ぎ去っていききました。お金がなかったのも日本に帰国して出産するという選択肢はありませんでしたが、同じ大学宿舎に偶然九州大学農学部からの留學生夫婦がおられ、しかも奥さんが同じく妊娠中でしたので何かと心丈夫でした。

宿舎から歩いていける距離に大きな病院があり、その中にある産科への通院が始まりました。担当医は二人おられ、それぞれ別に自分の開業クリニックがあり、決まった日だけこの病院に勤務されています。定期の外来には英語のサポートのために私も同伴しました。しかし以前の原稿にも書いたように、留学前に少し英会話を勉強したものの、ヒヤリングに集中するとしやべれず、スピーキングの内容を考えていると聞き取れませんでした。私以上に英語に不自由ではあるものの、会話は家内の野性的な勘に頼ることもあり

ました。外来は病院の中のクリニクにあつて、診察は看護師が行い、医師は簡単な説明をする分業システム。エコー検査は1回のみで男女の別もわからず、採血のあとはアルコール綿ではなくティッシュペーパーで止血するなど、医療文化の違いを肌で実感しました。妊娠経過は順調でしたが、つわりがひどく家内は食事に苦労しました。「食欲がないときはセブンナップを飲みなさい。」と医師から言われましたが、「そんなの、おなか

が余計に張って飲めるわけないだろう！」と内心少し毒づいたのもです。不器用な私もやむを得ず、簡単な二人の食事や自分のランチをつくったりしました。ケンタッキー州は内陸にあるため、魚と言えばナマズしかなく（ナマズは白身の肉でさほど癖はない魚です）、日本食専門店はないのでオリエンタルシヨップ（中国、ベトナムなどアジア各国の食材がまぜこぜ）で調達しなければなりません。出産予定日が近づくと、私と家内はラマーズ法のクラスに参加させられ、もとい、参加しました。当然ながら米国の皆さんは全員が夫の付き添いでした。ケンタッキーの夏はかな

り暑かつたのですが、少ない給料による窮乏生活でエアコンのない宿舎で家内は暑さに耐えました。暑さがたまらないときは、帰国する日本人から1000ドルで買ったばかりの車でもエアコンが効く自家用車でドライブに出かけました。宿舎のそばの芝生にはたくさん

の蛍が飛び交っており、自然の豊かさを感じました。予定日に近い3月1日の昼頃から陣痛が始まり、担当医に電話したところ「連れてきてください。」とのこと。行く

がかけられるのはさすがアメリカだとありがたく思いました。翌日にはすでに日本を出発していた私の両親がレキシントンに到着しました。出産後2泊して退院となりましたが、多くの米国のママたちは出産直前に入院し、出産当日か翌日には退院していました。出産は病気ではないと欧米では認識されているためで、これも日本との違いです。米国のママさんたちは、本当にタフなママさん達ばかりでした。

その年の7月には、オクラホマ州オクラホマシティにあるオクラホマ大学に留学先を移りました。アメリカ大陸の中で東側3分の1付近から、西側3分の1付近までの遠距離です。ケンタッキーからオクラホマへ、Uホールと呼ばれる貨物車両(昔で言えばほろ馬車か)をわが家のぼろ車に連結し、乳飲み子を抱えての2日間のドライブを挙行しました。よく赤ん坊とあのぼろ車が耐えてくれたものだと今も思います。ケンタッキーに比べるとオクラホマは、人柄ものんびりした開放的な人が多い印象を持ちました。娘は定期的な開業の小児科医に見てもらいましたが、この主治医は南部なまりの、間延びした話しぶりが特徴の老医師でした。一通り私たちに診察の結果を説明した後で、私に英語が理解できたのかを確かめるように必ず「Do you follow me?」とは言われましたが…。米国の開業小児科

のオフィスを見ることができたのもいい思い出となりました。娘はカーペットの上を這い這いでいましたが、あるときその娘のそばに、尻尾を立てたサソリがいるのを見つけた、震えあがりしました。靴でたたいて殺しましたが、アパート事務室に報告しても「あつ、そう。」と軽いなされました。オクラホマがテキサスの北部に接する州であることを再認識したものでした。時々発熱することはあったものの特に大病にかかることもなく、娘は元気に育つことができました。家内が頭痛で受診した際は、診察した医師が髄膜炎かもしれない、と脅されたこともありました。私はさしたる病気にかかることもなく、オクラホマ市内のフットサルクラブに入って健康を保ちました。夜中23時頃人影の少ない、物騒なダウンタウンの体育館での試合は、少し怖かったです。留学最後の3か月だけ、ラボのボスの異動に伴い、イリノイ州シカゴのイリノイ大学に移りました。米国では初めての都会生活になります。通勤は最初は電車、すぐに慣れて都会の町中をぼろ車を運転しました。幸い夏から秋の期間でしたので、シカゴの厳

しい冬を経験することはありませんでした。シカゴは五大湖の一つ、ミシガン湖に接しています。水遊びに行ったら湖の水が夏にもかかわらず冷たく、娘も水に入ることはできませんでした。この際、駐車していた車が車上荒らしにあいましたが、ほとんどもらってもいいものばかりだったので幸いでした。

お金のない留學生活だからこそ経験できた、米国での家内と私の出産、育児の体験談です。米国の医療を少し垣間見ることができましたが、総じて赤ん坊と母親には優しいお国柄であったと思います。ちなみに、日本の赤ちゃんが「イヤー！」から覚えるように、娘が最初に覚えた英語は「No」でした。留学時代の自分の身に置き換えて考えると、日本に来られる外国人、留学や仕事をしている外国人の人には、国籍を問わずできるだけ親切でありたいと思います。若さもあって無鉄砲な留学でしたが、その頃の自分の若さを今では懐かしく思い、そして少しでもだけそんな自分をほめてやりたいと思います。



「2024年度 第48回療育体験研究発表会報告」

(3月6日 地域交流ホール) 研修研究委員長/荒金 幸

2025年3月6日(木)、当センターの職員が集まり、「療育体験研究発表会」が地域交流ホールにて開催されました。

今年度は、各部署より5演題の発表があり、座長は看護主任の濱窪恵さんをお願いしての療育体験研究発表会でした。

発表は、各研究班、日常の業務を行いながら、自分たちの行っている支援や介護に目を向け、支援の効果やその根拠を考え向きあい、研究という形や症例報告としての形にまとめ発表してくれる内容ばかりでした。結果として思ってもいない結果だったり、支援のプロセスで気づかなかったことに気づけたり、どの研究班にとっても学び深いものであったように感じました。今回の発表を職員みんなで共有することにより、さらに久山療育園全体の支援の質を高めていくことにつながっていくのではないかと感じました。



すべての発表が終わると、理事長、センター長、渡辺診療部長による協議が行われ、最優秀賞の発表がありました。

2024年度最優秀賞は「めぐみ棟研究班」でした。呼吸障害に対して、排痰補助装置を導入し、導入するのみでなくどのような方法がより効果があるのかを考え、研究するスタンスが評価されました。

療育体験研究発表会で発表した演題については、次年度の日本重症心身障害学会、重症心身障害療育学会、九州地区重症心身障害研究会への発

表の推薦が決まりましたので、各演題さらにブラッシュアップして各学会での発表も頑張っていたきたいと思います。

演題1「食形態を見直す」

給食サービス研究班

久保 梢江 他

当センターの食形態が現在の4形態になってから10年以上が経過している。

今回、利用者の嚥下能力維持、低下防止、安全性の確保につながる食形態の見直し提供を目的に、問題点を抽出し食形態の見直しを行った。

結果としては見直し後も各食形態において問題点や課題は多少なりともある。個々に適した食事を選択し、提供するために、嚥下調整食の分類に準じた食形態の標準化が求められており、そのためにはより深く現利用者の摂食嚥下状態を理解し、どのような食事形態がより適しているか多職種と連携し、把握しなければならぬ。



演題2「『ゆい』における新規連絡対応の分析」

相談支援室研究班

山田 建 他

相談室は、療育園のサービス利用者のケースワークを担当する「園内相談」と糟屋圏域の在宅生活者の相談に対応する「相談支援センターゆい」(以下、ゆい)で構成されている。

2024年4月～9月における新規問合せ連絡についての記録から、内容の特性や傾向について調査した。内容や特性としては、障害受容ができていない段階で関わる事も多く、様々な地域、障害種類、年齢層に対応している状況があり、そのため障害福祉分野のみでなくライフステージや

それぞれの課題に関わる幅広い知識、各機関とのつながりが必要になる事が確認できた。複合的な課題を抱える困難ケースが複数あり、今後も委託事業所として対応を求められる事が多いと考えられ、そのニーズに応えるために自己研鑽と体制作りが必要であると考えられる。

演題3「パーカッサーモードおよびパーカッションラップの排痰補助としての即時効果」

めぐみ棟研究班

山野 祥子 他

パーカッサーおよびラップの排痰補助としての即時効果を検討した。

対象は成人女性で横地分類A I、喉頭気管分離の状態であり、日常的に気管吸引を実施している。方法は A : Mechanical Insufflator-Exsufflator (以下、MIE)のみ実施【①直前吸引②10分間待機③MIE(4回4セット)④直後吸引】(以下、A)とB : MIEの前にパーカッサーおよびラップの実施【①直前吸引②ラップ(5分間)③気管孔パーカッサー(5分間)④MIE(4回4セット)⑤直後吸引】(以下、B)を比較する。評価項目はAおよびBの直後吸引時の痰重量とした。AおよびBをそれぞれ20回実施し、痰重

量の平均値を比較した。
 結果はBの方が分泌物の移動を助ける効果によって痰重量が重くなると仮説を立てたが、Bの方が痰重量の平均値が軽い傾向および0gの回数が多かった。今回は加湿が不十分であり、気管孔からのパーカーの送気によって分泌物を乾燥させることが要因と考えられる。

演題4 『やりたいことができない』を変えるきっかけがみえた一症例」

リハビリテーション研究班

阿南 真弥 他

在宅で生活をされている重症心身障害児者は身体機能面の制限や介助負担が多い。これらのことから「やりたいことができない」と訴える20代女性、外来利用者に対して、やりたいことの重要度・遂行度・満足度を10段階で、利用者主体での聞き取り評価を2ヶ月ごとに、計4回実施し後方視的に検証した。

やりたいこととしては、①左手を操縦できるようにしたい②トイレを一人でしたい③いろんな人と触れ合いたい④が挙げられた。重要度はいずれも10で、①は遂行度が0→6、満足度が0→6に変化した。②

は遂行度が1→6、満足度が0→6に変化した。③は遂行度が4→7、満足度が4→7に変化した。

項目の遂行度と満足度が上がった要因として、動作場面を本人と一緒に動画で確認し、目的動作を意識化できたことで作業量や作業効率が上がったことや、主体的に改善方法を検討することが増えたため生活動作内で日常的に意識し行えたことが変化した要因と考える。リハビリ、生活上での目標を本人とセラピストが共有でき、共通の改善点、改善目標を認識出来たこと、これらが自己効力感を高め、プライベートでの積極的な外出機会の増加や行動計画立案につながり、様々なことに挑戦しようとする精神的な変化に繋がったことが考えられる。

演題5 「聴覚過敏のある重症心身障害児者へ与える音の大きさの影響」

ひかり棟研究班

印 美帆 他

現在の病棟内生活環境音は、聴覚過敏のある利用者にとってどのような問題があるかをデシベル調査し分析した。対象は脳性まひ、知的障害をもつ、大島分類1、横地分類A

1の入所者1名の不快言動の調査と不快言動がよくみられる時間帯における生活環境音の調査を行った。

環境省から提示されている生活騒音レベルに照らし合わせる、CD音とベッド柵の音、食事テーブル音は新幹線の車内と同じレベルであり、他利用者の声・職員の声・おもちゃの音はゲームセンター店内と同じレベルであった。日常生活において、目視で確認しづらい、または予測できない状態で発生する音は、本人のストレスになり、不快に繋がったのではないかと思われる。聴覚過敏のある重症心身障害児者へ与える音の大きさの影響は非常に大きく、心身へのストレス効果、発達への影響、行動面・情緒面の反応、環境整備と対策の必要性といった側面での注意が必要である。

メモ帳

- 【1月】▽8日 福岡特別支援学校3学期始業式
- ▽15日 全体避難訓練
- ▽17日 誕生会
- ▽20日 経営会議
- ▽22日 お話会(久山町)託児所
- ▽23日 めぐみ棟園外活動
- ▽24日 2024年度第4回理事会
- ▽26日 施設見学会
- ▽28日 久山町社会福祉法人連絡会(ランチ)、ひかり棟短時間園外活動
- 【2月】▽10日 経営会議
- ▽12日 福岡県北部地区在宅重症児者連携会議・コア会議(Zoom)
- ▽13日 初動避難訓練、託児所避難訓練
- ▽18日 第一回地域連携推進会議
- ▽20日 めぐみ棟園外活動
- ▽27日 めぐみ棟園外活動
- ▽28日 お話会(久山町)託児所
- 【3月】▽1日 入所者36名マイナンバー作成訪問出張(久山町職員来園)
- ▽3日 バプテスト社会福祉協議会理事会
- ▽4日 お話会(久山町)第二療育室
- ▽5日 福岡県北部地区在宅重症児者連携会議・コア会議(Zoom)
- ▽6日 療育体験研究発表会
- ▽12日 福岡特別支援学校・小学部卒業式
- ▽13日 火災感知器設置調査(消防署立ち会い)
- ▽14日 2024年度第5回理事会
- ▽17日 経営会議
- ▽19日 めぐみ棟園外活動、福岡特別支援学校修了式
- ▽21日 夜間避難訓練、託児所避難訓練、ひかり棟短時間園外活動、火災通報装置設備更新調査(消防署立ち会い)
- ▽24日 ひかり棟短時間園外活動
- ▽25日 お話会(喫茶活動)
- ▽27日 めぐみ棟園外活動
- ▽28日 中部消防署立ち入り調査、2024年度第3回評議員会

2025年度予算

2025年3月14日 2024年度第6回理事会にて2025年度予算が承認されました。
予算の概要については、以下の通りとなります。

2025年度 資金収支予算書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日 (単位:千円)

科目名	2025年度 予算額 (A)	2024年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
《事業活動による収支》			
(収入の部)			
児童福祉事業収入	4,118	4,105	13
障害福祉サービス等事業収入	582,594	591,651	△ 9,057
医療事業収入	889,300	875,684	13,616
経常経費寄附金収入	21,175	272,977	△ 251,802
受取利息配当金収入	1,501	2,309	△ 808
その他の収入	5,904	5,225	679
事業活動収入計①	1,504,592	1,751,951	△ 247,359
(支出の部)			
人件費支出	1,135,000	1,068,092	66,908
事業費支出	195,981	189,274	6,707
事務費支出	258,261	178,377	79,884
事業活動支出計②	1,589,242	1,435,743	153,499
事業活動資金収支差額③=①-②	△ 84,650	316,208	△ 400,858
《施設整備等による収支》			
(収入の部)			
施設整備補助金収入	0	2,847	△ 2,847
施設整備等収入計④	0	2,847	△ 2,847
(支出の部)			
固定資産取得支出	5,350	16,350	△ 11,000
施設整備等支出計⑤	5,350	16,350	△ 11,000
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 5,350	△ 13,503	8,153
《その他の活動による収支》			
(収入の部)			
積立資産取崩収入	133,000	35,760	97,240
サービス区分間繰入金収入	157,426	61,109	96,317
その他の活動収入計⑦	290,426	96,869	193,557
(支出の部)			
積立資産積立支出	43,000	338,465	△ 295,465
サービス区分間繰入金支出	157,426	61,109	96,317
その他の活動支出計⑧	200,426	399,574	△ 199,148
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	90,000	△ 302,705	392,705
予備費支出⑩	0	0	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	0	0	0
前期末支払資金残高⑫	479,652	479,652	0
当期末支払資金残高⑬+⑫	479,652	479,652	0

1.概況

2025年度は創立50周年まであと1年となるため、今年が準備の年度となる。その節目を万全の態勢で迎えることができるよう50周年記念プロジェクト会議を立ち上げ、様々な職種を交えて準備を進めることとした。

今年度については、収入に関して経営会議の中で決定したりハビリの人材を増員し、脳リハIの増収を図ることとした。通所においては、稼働日数を増やすため、祭日を開所する取り組みを行う。また昼食の保護者介助を終了し、現在の保護者のニーズにあった運営を目指すことにより平均稼働を上げることとした。

支出では人件費について、人材の未補充分を予算化し、賞与についてはプラス0.20カ月増の年間4.50カ月にて予算化をし既存職員の処遇改善を図り、働きやすい職場環境の構築などを積極的に行う。同時に外国人の雇用についても準備を進める計画としている。

事業費・事務費では、給食材料費の高騰や水道光熱費の値上げ、各種物品の値上げ、建物・備品の不具合箇所の増加に伴う修繕費の増加などもあり、収支の改善の足かせになっている状況は変わらない。

当センターにおいて建物が15年を経過したことから、昨年度より計画的に予算を投下し改修を進める。今年度は、外壁塗装工事・非常用放送設備・エレベーター改修を中長期計画積立金より取崩しを行い実施することとした。当期資金収支差額分については、基本財産減価償却積立金に積立を行う。

2.積立金について

中長期計画使用分(133,000千円)の取崩しを行う。

当期資金収支差額分を基本財産減価償却積立金に積み立てる。

3.事業活動計算書について

当期活動増減差額は、△159,000千円を見込んでいる。

※中長期計画分を除くと△26,000千円



病棟イベント

「お雛様もハイポーズ♪」

3月、久山療育園の正面玄関にはとても立派で綺麗なお雛様が登場していました。



お雛様

めぐみ棟のお内裏様とお雛様：もとい、利用者の皆さんで、そのお雛様と記念撮影のお散歩にちよっとお出かけ♪

きらびやかなその空間に、自然と「♪いっしょに並んで すまし顔♪」な笑顔を見せてくださいました。また、お写真を撮っている「いい笑顔だねー」「きれいなお雛様だね」など、通りがかりの様々な方たちにも声をかけていただいたり、お雛様を通して季節の話題に話が弾んだり、まるでその場がひな祭り会場のように賑やかに。

ひかり棟でもお内裏様、お雛様と一緒に写真を撮りました。

次はどんなコーナーがお目見えするのか：四季の楽しみになっていきます。

(めぐみ棟 介護福祉士 濱田彩子)



お内裏様と！



お雛様と一緒に！



みんなで見ると楽しい！



おすまし♪

「病棟内での面会を再開しました」

2月17日(月)から面会が緩和され、病棟内で面会をすることができるようになりました。

久しぶりの病棟での面会に賑やかな毎日に戻ってきました！
ご家族やご兄弟の方々と顔を合わせ楽しくお話をしている様子が伺えました。
これからどんどん楽しくなっていく予感がします。

これからもよろしくお願ひいたします！

(ひかり棟 保育士 山下莉奈)



優しいまなざしにホッとする時間



お久しぶり



みんなでおはなし

2025年度 入所行事予定

4月	11日(金)	イースター	9月	5日(金)	誕生会	12月	17日(水)	入所クリスマス
	18日(金)	誕生会		12日(金)	久山なないろの会	1月	16日(金)	誕生会
5月	23日(金)	誕生会		23日(祝・火)	開園祭	2月	1~8日	節分週間
6月	13日(金)	誕生会	10月	3日(金)	誕生会		13日(金)	誕生会
7月	4日(金)	七夕・誕生会		22日(水)	秋のつどい	3月	1~8日	ひな祭り週間
	24日(木)	夏まつり		23日(木)	秋のつどい		13日(金)	誕生会
	25日(金)	夏まつり	11月	14日(金)	誕生会	※予定は変わることもあります。		
8月	15日(金)	誕生会	12月	5日(金)	誕生会			

めぐみ棟より

「外気浴でリフレッシュ」

雪などの寒い日々が続いていましたが、ようやく暖かく過ごしやすい日が増えてきました。

外に出での散歩や外気浴が大好きな利用者の皆さんとスタッフ(笑)は、最近お天気のいい日には少しの時間でも外気浴やお散歩を楽しんでいます♪

室内でのまったり活動も楽しんでいただけていますが、やっぱりお外に出るの時間は心地よく清々しい表情を見せてくださいます。

そんな皆さんの姿を見ると、「もっと喜んでいただきたい!」と、シャボン玉を飛ばす動きも、ダイナミックに張り切っています!

どんどん外へ出て、春の爽やかな気候を楽しんで頂きたいと思います。

(めぐみ棟 介護福祉士 濱田彩子)



ゆったり気持ちいいね



シャボン玉、もっともっと〜♪



ひかり棟より

「フォトスポットで写真を撮ろう!」

ひかり棟で新しくフォトスポットを作りました。1月はお正月、2月は節分、3月はひなまつり!4月、5月、6月・・・と毎月変わっていきます。仲の良い利用者さんと一緒に楽しい笑顔で!大好きな職員さんと一緒に嬉しい笑顔で!一人がかっこよく凛々しい笑顔で!

(ひかり棟 保育士 山下莉奈)



通所で頑張っています

「通所の日々の活動風景」

通所では日々様々な活動を行っています。活動内容としては、お花活動・お茶活動・ゲームやバスボン作り・楽器遊び・大型遊具・リラクゼーションなど・・・、毎週違った活動をしています。

活動で制作したものの（お花やバスボンなど）はお家に持って帰ってもらい家族で楽しんでいただいたり、療育室内や廊下に飾ったりしています。たくさんある活動の中で、喜んだり、悔しがったりと様々な反応が見られており、スタッフも一緒に楽しませていただいています。通所に来て、楽しく過ごしていただきたいと思います。

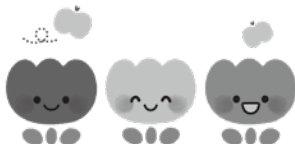
（通所 介護福祉士 長嶋奈美）



お花、綺麗でしょ☆



ボールを「えいっ！」



ボールを転がすぞ！！



お茶を点ててます(^▽^)



制作頑張るぞ！！

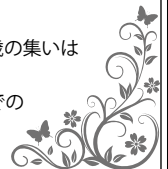


鬼だー！

2025年度 通所行事予定

4月1日(火)	始園式	10月10日(金)	災害避難訓練
6月2日(月)～6日(金)	運動会活動	12月19日(金)	クリスマス会
8月28日(木)	夏祭り	2月25日(木)	二十歳の集い

○予定は変わることもあります。
○始園式・夏祭り・クリスマス会・二十歳の集いは集合形式で実施する予定です。
感染状況によっては、日々の活動内での実施になることもあります。



児童 宇そら宙

「お花活動」

通所「宇宙」の子どもたちは毎週様々な活動を通して楽しみながら参加されています。今回は初めて生花を使ってお花活動をしました。

生花に触れる前に「お花がわらった」の歌に合わせてペープサートを行うと子どもたちは興味津々でよく見て楽しんでいました！

ガーベラ・スターチス・カスミソウの生花を子どもたちの前にだしてみると、ジッと様々な色のガーベラを見ている子や、すぐに手を伸ばしお花を握ってみたりする子や、お母さんと一緒に好きな色のガーベラを選んで触ってみたり匂いを嗅いでみたりとひとりひとり生花に触れ楽しんでいる姿が見られました。

それぞれ素敵なフラワーアレンジメントが出来上がり、生花を通して貴重なお花活動ができたのではないかと思います。またみんなで楽しみましょうね☆

（通所 保育士 田崎加奈子）



重症者ホームひさやまより

「初めまして、おはようございますー!」とドキドキしながらホームの入り口で挨拶すると、ホームの皆さんのニコリとした笑顔に迎えられホッとしました。初めから驚くことばかりで、いい匂いがしているなーと思うとスタッフの手作りご飯!すごい!そのあとは利用者の方が一生懸命に表情や声に出しているいろと教えてくれました。皆さんのできることを見せてくれて驚くばかりでした。

利用者さんの誕生日会に参加させてもらって、お手伝いで利用者の方とホームの前にパセリを取りに行きました。パセリが見当たらず困ったなあーと思っていたら、なんと普通のパセリではなく『イタリアンパセリ』だということ。何も知らない私は恥ずかしかったのですが、一緒に摘みに行った利用者さんが笑って『大丈夫だよ』の表情で助けてくれました。無事お手伝い終了で誕生日会の食事に色を付けることができました。

みんなで家族のようにお祝いしている様子を見て、改めて早く私もみんなと一緒と仲良くなり、たくさんの笑顔が出るように頑張ろうと思っただけでした。

(重症者ホーム 療育員 栗山真由美)



素敵な誕生日

♡♡♡ 2025年度 重症者ホームひさやま行事予定 ♡♡♡

月	行事	月	行事
4月	お花見	12月	クリスマス会・忘年会
7月	10周年 開設祭	1月	新年会
9月	開園祭	2月	ご当地フェア
10月	ピクニック	3月	お茶会

☆その他 個別外出、地域の行事参加、街頭募金、音楽療法(月2回) など
※予定は変わることもあります。

「2025年度 重症者ホームひさやま行事予定」
4月になり少しずつ暖かく過ごしやすい時期になりました。グループホームは今年で10周年を迎えます。昨年よりパワーアップした活動や行事で10周年を盛り上げたいと思います。今年の行事予定を紹介いたします。詳細につきましては「愛の手を」やホームページで紹介していきますので是非ご覧ください。

(重症者ホーム 介護福祉士 川邊以都美)

一緒に お花見♪



クリスマスだ!



冷たくておいしい

ポン♪ポン♪



素敵な誕生日



準備OK!

職員の異動

(2025/1/15/4/1)

【採用】

1/6付

▽藤井 綾(看護師)

▽飯田 久美子(看護師)

1/7付

▽今泉 弘幸(運転手)

1/14付

▽吉村 恵(療育員)

1/20付

▽山下 遼(調理員管理栄養士)

2/1付

▽桐木 梨恵(介護福祉士)

3/10付

▽樋口 貴寛(介護福祉士)

4/1付

▽田口 匠平(小児科部長(医師))

▽石橋 弘樹(看護師)

▽糸瀬 啓子(看護師)

▽岡田 有雛(看護師)

▽松元 はな(看護師)

▽西田 凌(介護福祉士)

▽笹田 柚菜(作業療法士)

▽寺崎 愛莉(理学療法士)

▽三谷 理恵(言語聴覚士)

▽宮原 梨衣(調理員(栄養士))

▽上田 菜摘(相談支援員)

▽坂本 照佳(相談支援員)

【退職】

1/6付

▽松木 智晴(療育員)

1/31付

▽小倉 潤二(調理師)

2/14付

▽山里 泰史(看護師)

2/28付

▽能登原 充幹(看護師)

3/31付

▽荒金 幸(リハビリテーション課長)

▽大重 佐和子(相談支援員)

▽梅本 奈津子(調理員(栄養士))

▽古城 佳彦(事務員)

▽寺田 帆乃加(療育員)



新入職員の皆さん

16名の新しい仲間をお迎えしました。ご紹介いたします。

(入職日・五十音順)



- ①樋口 貴寛 (介護福祉士 ひかり棟)
- ②利用者さんが安心して毎日を過ごせるように頑張ります。
- ③長所…責任感がある。
- 短所…慌てることがある。
- ④利用者さんやご家族の悩みを解決できるようにしていきたいです。



- ①桐木 梨恵 (介護福祉士 ひかり棟)
- ②利用者さんが安心して生活を送れるように頑張っていきます。
- ③長所…明るく笑顔を心掛けています。
- 短所…心配性なところです。
- ④ご家族の方、利用者さんの思いを大切に、日々笑顔で明るく安心して生活を送っていただけるような丁寧な支援を心掛けていきたいと思っています。



- ①山下 遼 (調理員(管理栄養士) 栄養課)
- ②部門の皆さんと力を合わせて働きます。
- ③長所…優しい。
- 短所…人見知り。
- ④安心、安全な食事を提供していきたいです。



- ①吉村 恵 (療育員 めぐみ棟)
- ②利用者さんに常に笑顔でいてほしいので、私自身常に笑顔で接します。
- ③長所…おおらか、マイペース。
- 短所…細かいところに気付かない。
- ④安心して任せていただけるような信頼関係を築きたいです。

- ①名前・職名・部門配置
- ②久山療育園で働くことについての抱負
- ③長所・短所
- ④利用者の方や家族とどのように関わりたいですか？



- ①松元 はな (看護師 めぐみ棟)
- ②利用者さんが笑顔で楽しく過ごせるように頑張りたいです。
- ③長所…元気で明るいところ。
- 短所…マイペースなところ。
- ④笑顔忘れず、利用者さんとご家族の悩みなどに寄り添った支援をしていきたいです。



- ①岡田 有雛 (看護師 ひかり棟)
- ②利用者さんの表現や行動を観察し、いち早く変化に気付けるように頑張りたいです。
- ③長所…明るいところ。
- 短所…心配性。
- ④利用者さんとご家族の気持ちに寄り添った関わりを行い、安心して過ごしていただける環境を作れるようにしたいです。



- ①糸瀬 啓子 (看護師 ひかり棟)
- ②初めての看護で緊張しますが、向上心を持って努めていきたいです。
- ③長所…あまり深く考え込まない。
- 短所…せっかち。
- ④利用者さんやご家族に信頼される看護師になれるように、その方が望んでいることは何かを考え取り組んでいきたいです。



- ①石橋 弘樹 (看護師 めぐみ棟)
- ②未経験の分野になりますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願ひします。
- ③長所…日常的に気遣いができるところ。
- 短所…気遣いし過ぎる時がある。
- ④利用者さんやご家族のニーズを把握し、一緒に解決に向け取り組んでいきたいです。



- ①田口 匠平 (小児科部長(医師) 医局)
- ②これまでの経験を活かせるように頑張ります。
- ③長所…じっくり考えるところ。
- 短所…時々せっかち。
- ④入所者さんやご家族のニーズを早く察知できるように努力します。



- ①三谷 理恵（言語聴覚士 リハビリテーション課）
- ②自分でできる支援の方法を見つけられるよう、試行錯誤しながら日々精進していきたいです。
- ③長所…感情表現が豊かなところです。
- 短所…慣れるまでは人見知りです。
- ④利用者さんの思いに寄り添い、ご家族が悩まれた時には一緒に考え、決断までをサポートして行くようにしていきたいです。



- ①寺崎 愛莉（理学療法士 リハビリテーション課）
- ②利用者さんの笑顔を大切にして、精一杯頑張ります。
- ③長所…樂觀的などころ。
- 短所…マイペースなどころ。
- ④利用者さんやご家族の気持ちに寄り添い、信頼し任せてもらえるような関係を築きたいです。



- ①笹田 柚菜（作業療法士 リハビリテーション課）
- ②利用者さんの可能性を最大限引き出し、生活に繋がって行くように頑張ります。
- ③長所…根気強いところ。
- 短所…緊張しやすいところ。
- ④利用者さんやご家族の意思をくみ取り、様々な気持ちに寄り添った支援を行っていききたいです。



- ①西田 凌（介護福祉士 ひかり棟）
- ②利用者さんの生活がより良いものになるよう努力していきます。
- ③長所…メンタルが強いところ。
- 短所…考えすぎないところ。
- ④皆さんに信頼していただけるように関わっていききたいです。



- ①坂本 照佳（相談支援員 園内相談支援室）
- ②これから皆さんが安心して相談できるように頑張ります。
- ③長所…好奇心旺盛。
- 短所…緊張しやすい。
- ④利用者さんやご家族お一人お一人の声を大切に、温かい関わりを通じて、笑顔を引き出せるような支援をしていきたいです。



- ①上田 菜摘（相談支援員 相談支援ゆい）
- ②利用者さんの気持ちに寄り添ったサポートをしていきたいです。
- ③長所…フットワークが軽い。
- 短所…心配性。
- ④先ずは信頼していただけるような関係を築いていきたいです。



- ①宮原 梨衣（調理員（栄養士） 栄養課）
- ②明るく元気に頑張りたいです。
- ③長所…優しいところ。
- 短所…マイペースなどころ。
- ④笑顔で楽しい毎日を送っていただけるように、食事面ではありますがサポートしていきたいです。



児童発達支援事業『宇宙』インスタグラム始めました



療育の様子をご紹介します。
QRコードよりぜひご覧ください



ご協力ありがとうございました

(2024年12月1日〜2025年2月28日) 敬称略

【法人】

一般献金

NPO法人障がい者の自立を考える会「ほし」北村久美子、愛知新生キリスト教会、愛の国保育園・こひつじ保育園、青山学院初等部、あかしキリスト教会、厚木幼稚園、後山敦子、阿部直子、飯田節子、石垣幸枝、伊集院幼稚園、市川幼稚園ひかりの家学園、伊都キリスト教会、糸島聖書集会、井上安子、宇美教会、梅崎正広、梅田淳子、嬉野キリスト教会、大分キリスト教会、大久保バプテスト教会、大牟田フレンドシップキリスト教会、折尾愛真高等学校看護専攻科、かたえキリスト教会、(学) 西南女学院、(学) 大牟田バプテスト学園、(学) 西南学院、(学) 西南幼稚園、(学) 福岡女学院、(学) 汀幼稚園、(学) 光の丘幼稚園、金井敏男、金子純雄、加來徳子、関西学院宗活動委員会、企救バプテスト教会、菊池孝子、菊池直樹、北白川いづみ保育園、木戸美沙、草苑幼稚園、神代暁宏、恵泉バプテスト教会、古賀和男、五斗美代子、こひつじ幼稚園、在日大韓基督教会福岡中央教会、堺幸日大韓基督教会福岡中央教会、堺幸子、相模中央キリスト教会、篠栗キリスト教会、サトウテツツグ、品川バプテスト教会、白垣充子、周船寺幼稚園、西南学院キリスト教活動支援課、西南学院舞鶴幼稚園、西南学院中学校・高等学校、西南学院中学校・高等学校後援会母の会、西南学院バプテスト教会、西南女学院大学

短期大学部付属シオン山幼稚園保護者会、西南女学院中学校・高等学校、仙台北バプテスト教会幼稚園、捜真女学校高等学部・中学部、大附智恵子、高松太田キリスト教会、高松常磐町キリスト教会、田隈バプテスト教会、玉川勝己、筑紫野二日市キリスト教会、筑紫野南キリスト教会、調眞琴、筑波バプテスト教会、東洋英和女学院中・高部宗教委員会、匿名、内藤慶治、中根史子、奈良崎洋子、西落合キリスト教会、日本キリスト教会福岡城南教会、日本キリスト教会房総君津教会、日本キリスト教団東郷教会こどもの教会、日本基督教団東村山教会、日本基督教団福岡中部教会、日本基督教団門司大里教会、日本基督教団八幡西教会、日本バプテスト伊集院キリスト教会、日本バプテスト小倉キリスト教会、日本バプテスト鹿児島基督教会、日本バプテストキリスト教団白ヶ丘教会、日本バプテスト女性連合、日本バプテスト台基督教会、日本バプテスト東熊本キリスト教会、日本バプテスト連盟徳島キリスト教会、日本バプテスト連盟瑞穂キリスト教会、日本バプテスト連盟宮崎キリスト教会、日本バプテスト連盟南光台キリスト教会、日本バプテスト連盟南光台キリスト教会、花野井バプテスト教会、波多野陽子、野方キリスト教会、波多野陽子、東福岡教会、伴敦子、東地区4教会合同新年礼拝席上献金、東福岡幼稚園、久山療育園手作品売上、平尾バプテスト教会、平尾バプテスト教会

子供クリスマス、平川成、平野佳世、福岡北ライオンズクラブ、福岡市民クリスマス実行委員会、福岡城東橋教会、福岡女学院看護大学宗教部、福岡女学院中学校・高等学校、福岡女学院幼稚園、福岡西部バプテスト教会、福岡中部教会付属養巴幼稚園、福岡友の会、福岡南キリスト伝道所、福岡連合教会と青少年委員会、福岡キリスト教会、福本順子、古江賢、法蓮寺仏教婦人会、舛永洋子、松永ヒデ子、真鍋恵美、三島バプテスト教会、水戸バプテスト教会女性会、宮崎信義、茗荷谷キリスト教会、明治学院高等学校、めぐみのその幼稚園、八代バプテスト伝道所、八幡バプテスト教会、山形南部教会婦人会、山口正夫、山田雄次、山本三佳、百合丘めぐみ幼稚園、横溝玲子 (以上3, 236, 265円)

【重症者ホーム】

一般献金

自動販売機売上献金、市川八幡キリスト教会、因道子、上野功喜、重症者ホームひさやま家族会、橋本治光、久山療育園重症者ホームひさやま入所者、久山療育園献金箱、久山療育園物品販売、又野洋子、矢野和美、匿名 (以上3, 226, 393円)

【施設】

一般献金

青山学院中等部、安部聖子、ウエスレアン・ホームネス教団福岡エルシオン教会、大塚利一、大原信幸、岡本市子、岡本好枝、(学) 大塚平安学園、木元克治、栗ヶ沢バプテスト教会、新藤賢恵・佐知子、周船寺第二幼稚園、清星幼稚園、高木美鈴、高瀬孝介、立石有梨佳、田中節子、由美、日本バプテスト連盟壺水キリスト教会、日本福音ルーテル大牟田教会、花原章一、久山療育園保護者会、松原こひつじ幼稚園、平野幸枝、深見達弥、福田靖、二日市栄光キリスト教会、船附啓二、松尾国利、松尾貴光・勇一、村津俊博、森永清治、安井洋子、梁瀬ゆかり、山下裕司 (以上515, 000円)

献品

イオン九州(株)イオンモール福岡(お菓子等)、川越救急クリニック(防護服ハウズ)、くぼらコーポレーション(株)(クリスマスケーキ)、久保山敬子(クリスマスツリー)、児湯キリスト教会女性会(タオル他)、相模中央キリスト教会女性会(枕カバー他)、調眞琴(タオル他)、富永奈央(おむつ)、西日本新聞民生事業団(クリスマスケーキ)、日本バプテスト太田キリスト教会(タオル他)、福岡医療関連協業組合(アルコール)、福岡北ライオンズクラブ(マスク他)、福岡友の会(タオル他)、福岡丸本(株)(クリスマスケーキ)、古後明朗(タオルエプロン)、松永ヒデ子(吸引器一式他)、室蘭バプテストキリスト教会(タオル)、山崎製パン従業員組合福岡支部(クリスマスケーキ)、匿名(りんご)、ロジテム九州(株)(クリスマスケーキ) (以上0円)

献金申込先

- 《郵送》
社会福祉法人 パプテスト心身障害児(者)を守る会
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原1869 久山療育園重症児者医療療育センター内 ☎(092) 976-2281(代)
- 《郵便振込》 郵便振替【01720-8-24404】
名義：パプテスト心身障害児(者)を守る会
- 《銀行振込》 西日本シティ銀行久山支店 普71888
名義：パプテスト心身障害児(者)を守る会
理事長 宮崎信義
- 《ホームページ》当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。
個人、会社共に免税の対象になります。
メール：hisayama@hisayama-smid.jp クレジット献金はこちら→





踊 一郎

「窓をあければ」

「福音の窓」、素敵なタイトルです。どなたが考えたのでしょうか。「窓」と聞くと、私はすぐに二つの詩を思い出します。新美南吉氏の「窓」。彼は1913年愛知県知多郡半田町(現・半田市)に生まれ、幼くして母を亡くし養子に出され、寂しい子ども時代を送りました。旧制半田中学校卒業後「赤い鳥」入選を機に北原白秋や巽聖歌との知遇を得ますが、残念なことに結核を患い29歳の若さで世を去りました。

「窓」

窓をあければ
風がくる 風がくる
光った風がふいてくる
窓をあければ
こえがくる こえがくる
遠い子どものこえがくる

窓をあければ
空がくる 空がくる
こはくのような空がくる

もう一つは河野進牧師の「天窓」という詩です。彼は1904年に和歌山県で生まれ、満州教育専門学校を経て神戸中央神学校で学び、日本キリスト教団玉島教会牧師となりました。その時、賀川豊彦師より岡山ハンセン病療養所の慰問を勧められ、以来50余年間携わりました。また社会福祉法人恵聖会理事長なども歴任し、86歳で召天。詩人としても知られ、『万華鏡』『カナの婚礼の葡萄酒』『今あなたに微笑んでいますか』『母よ幸せにしてあげる』などの詩集を出版しました。それらから選ばれた詩が現在は幻冬舎より『どうきん』と題して出版されています。

「天窓」

部屋が暗いから
屋根に小さな天窓を作った
太陽の光がさしこんで
ふしぎなほど明るくなった
そっだ、心がうつつとうしいとき
すぐに祈りの天窓を開こう
天窓とはうれしい名だ
窓 それは光や風だけでなく暖か

さも部屋にもたらしません。随分前私の妹がアメリカで学んでいた頃、老人ホームでもボランティアをしていました。その時出会った目の不自由な老人は他者との交わりを避けて部屋に閉じこもり、窓のカーテンも一日中閉めたまま過ごしていました。妹が「カーテンを開けましょうか」と声をかけても、要らないとの返事、しかし少しずつ気持ちや和らぎ、ようやくカーテンを開けることを承諾してくれたのです。ガラス越しのやわらかな陽射しが彼女を包み込みました。「あたたかい」。私も一度妹の案内で彼女を訪ねましたが、穏やかな笑顔で迎えてくれました。窓からの光は人の心も暖めるのですね。

キリスト教の歴では4月20日(日)はイースター、今年も美しい季節が訪れました。あなたの心の窓から光、風、暖かさとともに復活の主イエス・キリストの静かな声が届きますように。

「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」

(ヨハネによる福音書11章25節)

ミットレーベン・ネットワークより



街頭募金で募った寄付金を献金いたしました。

2024年度も皆様のご協力を得て、活動できたことを感謝申し上げます。今回は街頭募金についてご報告します。久山療育園を支援する街頭募金が、療育園ができる前から50年以上にわたって、続けられていることはご存知だと思えます。昨年末も市内教会の皆様、療育園の職員、入所者の保護者の方々にもご参加していただき、有難うございました。これには募金の他に、久山療育園の働きを多くの方々知ってもらう目的があります。昔は、募金箱が重くなるようなこともありましたが、最近では募金に応じてくれる人の数は減り、特に外国人が増え、チラシすら渡せない状態です。こういう状況ですから、私たちの他に定期的に街頭募金を行っている団体はなくなり、時代の変遷を感じます。この街頭募金は、毎月第4土曜日の13:00-15:00に、福岡市中央区天神の西日本新聞社(博多大丸)前で行われています。ただ参加者は5-6人で、平均年齢は80歳に近い状態です。そこで皆様にも1時間でもいいので、ご協力をお願いしたいと思っています。贅沢を言えば、お子様やお孫さん連れで参加いただけたらなお幸いです。詳しくは事務局までお問い合わせください。(重症児者と共に生きる「ミットレーベン・ネットワーク」会長 伊原幹治)

ボランティアだより

「2024年度

ボランティア委員会活動の振り返り」

2024年度のボランティア受け入れについては、感染症等による受け入れ制限もなく、年間を通じて活動を行うことが出来ました。昨年度も64名の方々がボランティア活動に来園され、洗濯物・タオルたみ、利用者の衣類の名札付けや補修、エプロンなどの作製・修理、保育活動や天井装飾で使用する制作物の作製、園庭の整備など・・・、たくさんの方のご尽力を頂き、大変助かっています。また昨年度より、少しずつではありますが、利用者に関わる機会も増えて、園内が活気づいているのが現状です。

現在は春休み、夏休み、冬休み等に、職員の子供を対象とした、小学生ボランティアの受け入れについても実施しています。

ボランティアの方々と一緒に作業に取り組むことにより、色々な体験や経験が出来ると思います。

2025年度も、ボランティアの方々との触れ合いを大切にしていけるように取り組んでまいりますので、ご協力の程宜しくお願いします。

(ボランティア委員長 島津洋昭)

【専用メールアドレス】

ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールがございます。
「興味があるけど、どんなことするの心配…」
「行ってみたいけど、手続きは？」など、いつでもご質問いただけるようになっています。お気軽にご利用ください。

bora@hisayama-smid.jp



歩 行 器

先日、福岡県下の病院を対象に、災害時の事業継続計画(BCP)についての研修会がありました。東日本大震災3・11から14年が経過するなかで、地震のみならず、台風や洪水など風水害、最近では森林大火災など、災害の規模が年々増大していることに、自然との調和が大きく揺らいでいる時代を生きているのだと感じずにはいられません。

こうした災害・脅威の時代の中、久山療育園は何を備えていかなといけなにか真剣に取り組み必要に直面しています。久山町のハザードマップによると、水没地域には該当しない少し高い位置に施設は建っています。

しかし、想定外の災害が続いている以上、安心は禁物と思います。最も恐れていることは、地震により建物が損壊し、病院機能が損傷した時です。なぜなら、平常時において、一般の医療機関では重度の心身障害児者の対応が困難な中、避難できる施設・病院は非常に少ないと思えるからです。そうなる、何とか施設に留まり、事業を継続していくことが必須であると考えられます。また一方で、避難先として、広域での支援を想定しておくことも求められます。スタッフ人員・インフラ(電気・水・ガス・情報システム)など、施設機能を災害復旧が始まるまで最低限続けていくには何を備えておけば良いのか、中長期的な計画をもつ対応が迫られています。今回研修に参加して、課題を見出し、着実に取り組むことを改めて確認することが出来ました。

本稿「歩行器」は、事業継続の歩みを補うものとも捉え、皆様からのご意見やお知恵を頂きながら、視野を広げて進んで参りたいと願っています。

(T・N)

職員募集

【専門職種】
●介護福祉士・保育士・介護職員
実践者研修及び初任者研修修了者
(重症心身障害児者への日常生活の介助業務、食事介助、入浴介助、療育活動等)

【その他の職種】
●日常生活補助業務(洗い物、リネンの片付け、利用者の衣類の片付け、日常用品の後片付け、居室清掃、ベッド寝具整頓など)

【雇用形態】
「正規職員」及び「パートタイム契約職員」

【受付】久山療育園
事務部担当課長 波田(ハタ) 氏
TEL (092) 976-2281

※詳しくは、ホームページ「重症心身障害施設 久山療育園」
(<https://hisayama-smid.jp/>)
またはQRコードをご覧ください。

重症心身障害施設
久山療育園ホームページ
<http://hisayama-smid.jp/>



求人情報

